

### ●美幌の自然とともに呼吸する家

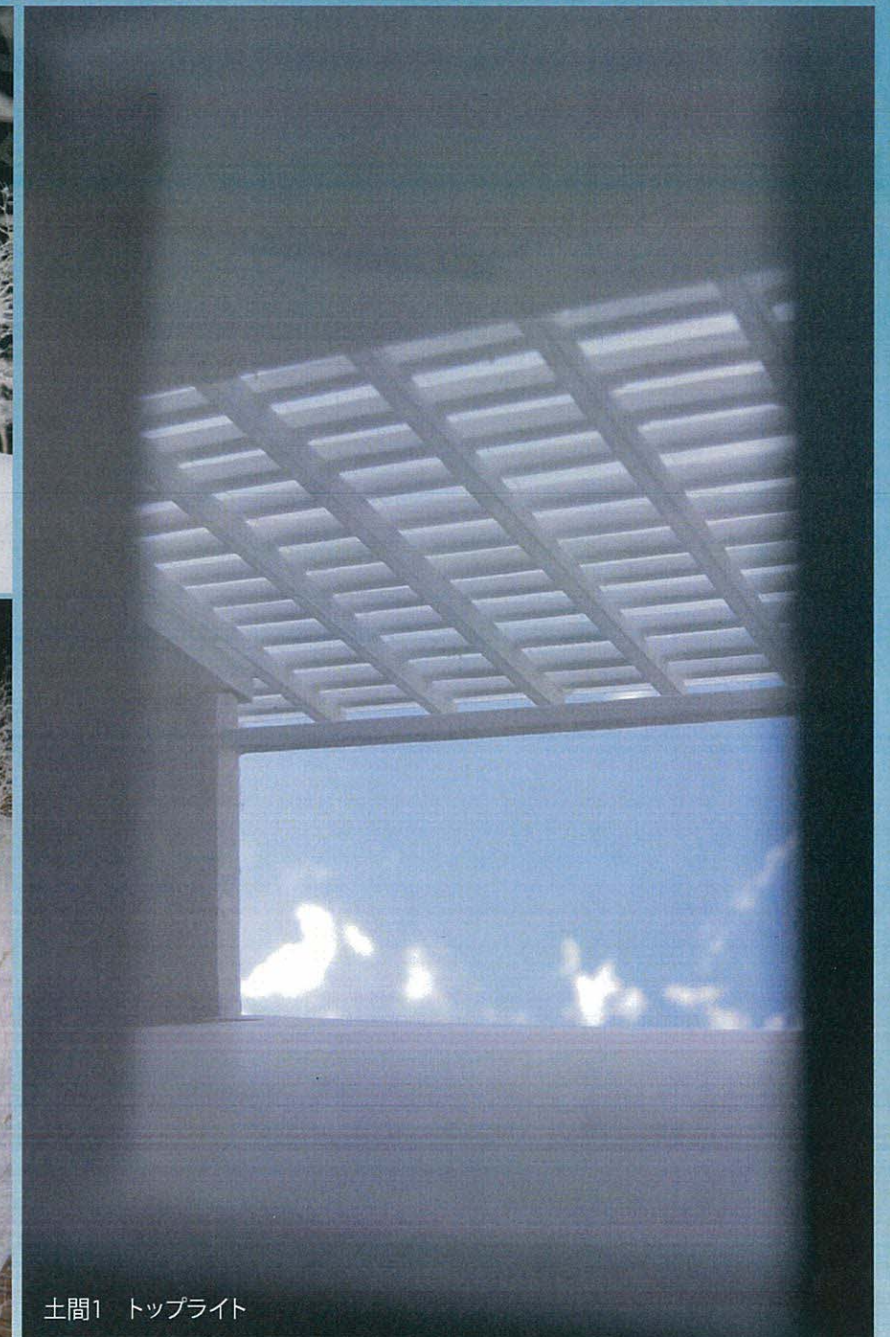
美幌町の主要産業である農林業は、自然の時間とともに育まれた仕事です。町が進めてきた「循環型森林経営」や「低炭素な町づくり」が目指すべき未来は、こうした美幌の自然とともに暮らすことの豊かさを実感できる社会なのではないでしょうか。昔から多くの人や生きものが、循環する自然の流れの中で世代を重ねてきたように、現代の暮らしの場もまた、自然の時間や季節の変化に寄り添う場所であることを望みます。しかしながら、変化を受容れる環境づくりには、機械の制御による均質な快適性とは異なる、「むら」や「多様性」を楽しむ心持も大切だと感じます。その地域の風土や気候、敷地の特性を注意深く調べ、美幌で育まれた産業や技術資源に先端の環境技術を組み合わせることで、美幌の自然とともに呼吸しながら長く生き続ける暮らしの場をつくりたいと考えました。また、四世代がともに暮らす農家住宅の提案として、新たな土間空間の創出が試みられています。屋根面からの採光による半屋外的な開かれた土間に、共有のキッチン・ダイニングが計画され各世代の個室と緩やかにつながれます。こうした空間構成は、室内の温熱環境の在りかたと呼応するもので、異なる明るさや暖かさを内包する多様な場をもつ農家住宅として考えられています。



南側アプローチ



南側俯瞰



土間1 トップライト